

## 【NY 2016/02/26(金)】 COMEX金先物価格(ドル/オンス)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高
2016/03	1,232.40	1,239.10	1,212.20	1,222.90	1,219.80	-18.40	656	850
2016/04	1,232.50	1,241.30	1,212.00	1,223.00	1,220.40	-18.40	210,882	302,957
2016/05	-	-	-	-	1,220.70	0	0	0
2016/06	1,233.60	1,241.50	1,212.70	1,224.50	1,221.00	-18.40	5,930	73,072
2016/08	1,238.90	1,241.40	1,213.40	1,226.90	1,221.60	-18.40	980	17,617
全体	Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM						220,145	442,103

## 【NY金概況と分析】 大幅続落、米GDP上方修正後のドル急伸を嫌気

為替相場が大きくドル高方向に振れる中、大幅続落となった。

アジア・欧州タイムは1,230ドル台を中心に揉み合う展開になったが、ニューヨークタイム入りした後のドル相場の急伸が上値を圧迫し、一時は1,212.00ドル(前日比26.80ドル安)までの急落となった。その後は不安定な株価動向を嫌気して投機筋の押し目買いで下げ幅を縮小したが、1,220ドル水準まで戻すのに精一杯だった。

本日は、久しぶりに為替相場が主導権を握った一日になった。ドルが対ユーロで改めて戻り高値を更新する動きを見せたことで、週末を前に買い玉整理の動きが優勢になった。昨年10～12月期の国内総生産(GDP)改定値が発表されているが、速報の前期比0.7%増から1.0%増まで上方修正されている。あくまでも年初の国際金融市場の混乱を反映していない過去の統計だが、少なくとも10～12月段階での米経済の底固さを示した格好になり、それがドル高連動でドル建て金相場の上値を圧迫している。

冷静にGDPの内容をみれば、在庫投資の上振れが上方修正の主因であり、今後の設備投資減速のリスクが高いネガティブな数値と評価する余地もある。全体の約7割を占める個人消費が速報の2.2%増から2.0%増まで下方修正されたことなどにも注意が必要である。ただ、マーケットでは速報からの下方修正は必至とみていた向きが多かっただけに、ドル相場にポジティブ、金相

場にネガティブな反応が観測されている。

問題は、これを手掛かりに改めてドル相場との逆相関関係を重視する展開に回帰できるかとなる。ここ最近の株価との逆相関を断ち切ることができれば、金相場は1,200ドルの節目割れが必至の状況にある。ただ、本日の金相場の急落は、序盤の米株式相場が底固く推移していた影響も大きく、なお相場ロジックの転換が実現したのかは慎重な判断が求められよう。

25、26日には20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議が開催され、中国からは財政・金融政策の動向や経済構造改革に対して強い意志も示されている。ただ、不安定な原油相場環境が続く中、株価も不安定な地合いが続き易く、金相場は瞬間的な上昇リスクを残した状態と評価している。急激な米金利低下・ドル安傾向に歯止めが掛かる中、従来との比較では上振れリスクは低下している。ただ、金上場投資信託(ETF)の投資残高も、2月は1月のほぼ2倍のペースで積み増しが進んでおり、なお金価格のピークアウト判断には慎重な判断が求められる。中期スパンでは戻り売りの好機と評価しているが、短期トレンドが下向きに転換するには、株式市場の安定化回復とそれに伴う金ETF売却の動きが要求される。

## 注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

## 発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)  
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)  
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>  
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)  
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。東京商品取引所認定・上級知識修得者（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: [kosuge@marketedge.co.jp](mailto:kosuge@marketedge.co.jp)

Twitter @kosuge\_tsutomu